

# めでたく百歳の誕生日

高橋<sup>まさし</sup>正志さん（赤畑）



家族や親類に囲まれ記念撮影をする高橋さん(中央)

8月18日、特別養護老人ホームすみだ荘（小松久平施設長）で高橋正志さんの100歳のお祝いが行なわれました。

高橋さんは明治42年8月18日生まれで、誕生日となるこの日は子や孫など親族のほか入所者や職員など約70人が長寿を祝い、ひ孫から花束が贈られました。

お祝いに駆けつけた多

田町長は「本町には100歳以上の方が高橋さんを合わせて4人になりました。皆さんも元気で100歳を目指してください」とあいさつし、町社会福祉協議会の紺野朋夫会長は「人口が少なくても高橋さんのように100歳以上がたくさんいる元氣な町にしましょう」と祝辞を述べました。

# 緑を愛し育てる心を...

7月28日から29日まで、生涯スポーツセンターを主会場に「県緑の少年団大会」が行なわれました。

この大会は、県内の緑の少年団員が一堂に会し、体験学習を通じて緑を愛し育てる心の醸成を図ることを目的に毎年開催されており、昨年に続き本町が会場地となりました。

この日は、県内20の緑の少年団員と育成会員な

ど約330人が参加し開会式が行なわれ、伊東千賀雄県緑の少年団連盟会長が「多くの仲間と知り合い、自然を守る活動に率先して取り組む機会として欲しい」とあいさつし、会場地を代表して有住森林愛護少年団の吉田実優さんが「たくさんの人と交流し、楽しい思い出を作りましょう」と歓迎の言葉を述べました。

# 東北大会優勝に貢献!

7月13日、第30回東北レディスソフトテニス大会が泉総合運動場庭球場（仙台市）を主会場に開催され、経験年数5年未満の「ふじ組」部門で吉田由美子さん（向川口）、松高茂子さん（小口洞）、松田みさ子さん（上日向）の3人が岩手県代表として参加し、優勝に大きく貢献しました。

大会には、東北6県の

優勝チームや入賞チームが参加、ふじ組には各県から1チーム（3ペア）が出場し、総当りのリーグ戦を行い熱戦の結果、岩手と青森が4勝1敗で並び、直接対決で勝利していた岩手が優勝の栄冠を手に入れました。

3選手は「スボ少の父母が応援に駆けつけてくれて大きな力になった」と満面の笑顔でした。



東北大会優勝に貢献した松田さん、吉田さん、松高さん（左から）



木工工作を体験する団員たち

参加した団員たちは名刺交換を行い、ニユースポーツ「カップ」や木工工作、キャンプファイヤーで元気に交流しました。

# 地域住民活動情報

## 五葉地域づくり委員会

8月2日、五葉地域づくり委員会による桜並木の草刈作業と四季の写真館の写真館の写真搬出作業が行なわれ、地区住民70人が参加しました。

草刈作業は、同委員会地域資源PR部会の桜並木整備事業として六郎峠付近の草刈作業を中心に行われました。

また、同日は五葉地区公民館の解体を間近に控え、公民館内に開設していた四季の写真館の写真を体育館に搬出する作業も行われました。



草刈作業に汗を流す参加者

## 上有住地区計画 推進協議会

8月9日、上有住地区内で「地域の名勝をめぐり、気仙川に親しむ」と題したマップ・ツアーが行われました。

このツアーは、地域づくり事業の一環で作成したマップを活用しながら、史跡・名勝などをめぐり、地域の良さを再認識しようとする開催されたものです。

この日は、親子連れや協議会員ら約30人が参加し、「めがね橋」「つぎのき淵」「鏡岩」などの川沿いにある名勝を見学し、地域の歴史に理解を深めました。

また、途中では清流にしか生息しないとされるサワガニの観察会も行われ、子どもたちは普段見慣れない生物に、目を輝かせ見入っていました。

高齢者生活福祉センター「アンルス」近くの



川下りに挑戦する参加者

流れの緩やかな場所ではペットボトルで作った「いかだ」に乗り、川下に挑戦しました。

参加者は、水の冷たさに歓声を上げながらゆったりと下り、箱めがねを使って水生生物の観察も楽しみました。

昼食は、近くの農村公園で川魚の塩焼きや豆腐田楽などの郷土料理に舌鼓を打ち、食後は、スイカ割りやクイズ大会をするなど交流を深めました。

参加した子どもたちからは、「いろいろな体験ができて、夏休みの思い出になった」「きれいな鏡岩の景色を初めて見るのができて感動した」「苦手の魚を、今日はおいしく

食べることができた」などの感想が寄せられ、大変好評でした。

## 地区別計画各地区 代表者会議を開催

8月18日、下有住基幹集落センターで第1回地区別計画推進母体の代表者会議が開催され、各地区の代表者10人が出席しました。

この会は、お互いの活動の情報交換や課題の共有を図ることによって課題解決策のヒントやあらたな活動のヒント、さらには地区を越えた地域づくり活動のきっかけづくりをねらいとして開催されたものです。

各地区の代表者からは、「人が集まらなくて困っている」「役員が短期間で代わるので蓄積されたノウハウがうまく引き継がれていかない」「役員だけの活動になり重荷になっている」「仕事や行事が多く、忙しくて活動がままならない」などの課題が出されましたが、地域の人達と課題解決策を話し



地域への熱い想いを意見交換する各地区代表者

さらには、「このように集まって意見交換をする場は大変有益。これを機会にお互いの地区が協力・連携して地域づくりを進めていく必要がある」と意見がまとまり、継続して代表者会議や交流会を開催することを申し合わせました。